

CFRPリサイクル オンラインEXPO

CFRPリサイクルの用途拡大・サプライチェーン形成に向けて

<オンライン配信>

2021年1月21日 木

14:00—17:40

【無料配信】

※一部事前予約制

CFRPリサイクラー
中間基材メーカー
全9社

マッチング会
申込受付中

申込 無料

要事前申込

講演 ▶ 14:05-15:00

CFRPリサイクルの 課題と今後の展望

講師

日本化学繊維協会 炭素繊維協会委員会
ELC委員会委員長／
東レ株式会社 ACM技術部
産業・スポーツ技術室 主席部員

山口 晃司 氏

パネルディスカッション ▶ 15:00-16:00

リサイクルCFRPの用途拡大に向けて

パネリスト

日本化学繊維協会 炭素繊維協会委員会
ELC委員会委員長／
東レ株式会社 ACM技術部
産業・スポーツ技術室 主席部員

山口 晃司 氏

株式会社新菱
サーキュラーエコノミー事業部門
リサイクル本部
本部長

橋口 正 氏

トヨタ自動車株式会社
第1材料技術部 有機材料室
第4有機材料グループ
グループ長

高山 晃史 氏

ファシリテーター

岐阜大学名誉教授
守富環境工学
総合研究所 (Meel)
所長

守富 寛 氏

一般公開

1/21(木)-2/4(木) 期間限定公開

CFRPリサイクルに関する自社製品・技術・サービスの動画配信、マッチング

注) 下記において「rCF」は、「リサイクル炭素繊維」を示します。

アースリサイクル株式会社

rCF事業化の推進

rCFの販売ルートを確認し、2021年2月より事業化を進めます。rCF処理装置は、自社開発で装置販売も行います。湿式法のため、粉塵飛散が少ない長所があります。

王子キノクロス株式会社

短繊維長炭素繊維を使用する 高米坪不織布

繊維長5～10mm程度のrCFと熱可塑性樹脂繊維との複合不織布を製造しています。

カーボンファイバーリサイクル工業株式会社

低コスト炭素繊維リサイクル技術を活用した循環型社会構築への挑戦

「自己燃焼型省エネ熱分解法」を活用した炭素繊維・リチウムイオン電池・水素タンクのリサイクル事業化を通じて循環型社会構築の一翼を担ってまいります。

金井重要工業株式会社

プレス加工向けフレキシブルな 炭素繊維成形基材

不織布加工技術を応用した、プリプレグおよび熱可塑性タイプの成型基材開発に取り組んでいます。

佐久間特殊鋼株式会社

環境とコストに優しいrCFを採用した 射出成形用CFRP ReMax Composite

rCFを使用することで、環境に優しく、低コストかつ高強度のCFRPペレットを提供します。

株式会社サンケン

塩ビ管加熱装置「まが〜る」DANT

塩ビ管加工には熟練の技術者の腕が必要ですが、技術者の経験に頼らない革新的マシンを弊社は開発しました。rCFを使用し、遠赤外線の効果で塩ビ管の内部まで均一加熱が可能です。

東レ株式会社

サーキュラーエコノミーを支えるrCF

パートナーとのrCFを使った用途開発を通じて、炭素繊維のサーキュラーエコノミー実現を目指します。

日本毛織株式会社

rCFを用いた不織布の開発

rCFを用いて、CFRP・CFRTP用の不織布基材を製造します。

富士加飾株式会社

rCFの量産開始と コンパウンドペレットの販売

独自のリサイクル技術で、新品同様のrCF長繊維を回収し、コンパウンド品の販売を開始しています。現在、用途開発のパートナーを探しています。

経済産業省中部経済産業局では、CFRPを循環材としていくため、

再生品市場の創出に向けた取り組みを展開しています。

その取り組みの一環として、再生品の用途拡大・サプライチェーン形成を目的に、

CFRPリサイクルに特化した講演&パネルディスカッション、またCFRPのリサイクラーや

中間基材メーカーの方々が自社の取り組みや技術・サービスの紹介を

オンラインにて行う、「CFRPリサイクルオンラインEXPO」を実施します。

オンラインEXPO実施後には、CFRPリサイクル技術等を発表した企業（9社）とのマッチング会（リアル&オンライン）を予定しておりますので、ご関心がおありの方は、是非ご参加ください。

講演・パネルディスカッション 講師・パネリスト紹介

山口 晃司 氏

日本化学繊維協会 炭素繊維協会委員会 ELC委員会委員長／
東レ株式会社 ACM技術部 産業・スポーツ技術室 主席部員

2001年 東京大学大学院 工学系研究科 博士課程修了。2006年東レ入社。「自動車軽量化炭素繊維複合材料の研究開発」(NEDOプロジェクト) (2003-2008)、「サステナブルハイパーコンポジット」(NEDOプロジェクト) (2008-13)を通じて、自動車向けの熱硬化CFRP、熱可塑CFRPのリサイクル技術開発に従事。また、2013年にはACM技術部に配属となり、自動車を含む産業分野への炭素繊維複合材料のテクニカルマーケティングに従事。炭素繊維協会委員会 ELC委員会では、CFRPの廃棄ならびにリサイクルに関する委員長に就任。専門は、構造力学、破壊力学、複合材料工学、実験力学、LCA。

橋口 正 氏

株式会社新菱 サークュラーエコノミー事業部門
リサイクル本部 本部長

1989年 横浜国立大学大学院物質工学修了。1989年に三菱化成(現三菱ケミカル)に入社し、主に炭素系製品の製造を担当。2000年～2008年は、四日市事業所勤務。2015年には、韓国PMCT社(ボスコ/三菱商事/三菱ケミカル合弁炭素材メーカー) の技術統括。2018年には新菱に配属となり、現在リサイクルビジネスユニットの統括。

高山 晃史 氏

トヨタ自動車株式会社
第1材料技術部 有機材料室 第4有機材料グループ グループ長

2002年東京工業大学大学院理工学研究科修士課程修了。2007年トヨタ自動車(株)に入社、有機材料室に配属となり、バイオプラスチック、部品・材料評価技術の開発などに従事。2016年にはToyota Motor North Americaへ出向し、2019年現部署へ復帰。現在は、CFRPをはじめとする軽量化材料開発に従事。

守富 寛 氏

岐阜大学 名誉教授／
守富環境工学総合研究所(Meel) 所長

1979年名古屋工業大学大学院修士課程修了。1980年～87年には北海道大学、1987年には米国オハイオ州立大学で助手を経て、1988年～95年までは、通商産業省(現経済産業省)工業技術院にて技官及び地球環境技術企画官付として勤務。1995年より岐阜大学工学部助教授、1999年に教授を経て、2016年からは岐阜大学 炭素繊維リサイクル研究センター長を併任。2018年4月に守富環境工学総合研究所(Meel)を設立し、現職。

WEBサイトから事前申込受付中!

参加申込メー

2021年1月19日(火) 17時まで



申込方法は
こちらからアクセス

URL

<http://recycling-cfrp-expo.meti.go.jp>

お問い合わせ先

公益財団法人国際環境技術移転センター(ICETT) 地球環境部 事業企画課 <上田・近藤・尾崎>

TEL 059-329-3500

E-mail webmaster@icett.or.jp